

差出人: 樋口明朗 <ar-higuchi@jcom.home.ne.jp>  
送信日時: 2019年1月14日月曜日 17:55  
宛先: 樋口 明朗 1  
件名: 西東京三田会通信第 7 7 号

## 西東京三田会通信第 7 7 号 (2019. 1. 15)

本通信は西東京三田会にメールアドレスを開示してくださっている関係者に配信しております。

(お断り: 内容はホームページ <http://nishitokyo-mitakai.net/>との重複分を多く含みます。併せてご覧下さい)

以降の配信停止をご希望の方は、[ar-higuchi@jcom.home.ne.jp](mailto:ar-higuchi@jcom.home.ne.jp) へ

☆:::INDEX:::☆

1. 平成最後の新年会が開催されました
  2. ニュースレター 2 2 が配布されました
  3. 麻雀の会、いよいよ初場所です
  4. 友好諸会との年末・年始行事交流
- 本メルマガ担当者ご挨拶

☆:::☆

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

### 1. 平成最後の新年会が開催されました

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

平成最後、2019 年「新年会」は、1 月 13 日(日)墨花居で開催されました。参加者は、会員 41 名、社友・会員家族・ご来賓 11 名、計 52 名と盛会でした。会員の参加率は休会者除く全会員の 42%で、よい懇親の機会となりました。会長挨拶が長すぎるなど改善余地も残しましたが、3 人の司会者の絶妙な進行により、あっという間に 2 時間は経過しました。

会の様子などは下記ホームページをご覧ください。  
<http://nishitokyo-mitakai.net/zentai2-sinnen-30do.html>  
 (ページは変更の余地を残しています。断りなく変更は行います)

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

### 2. ニュースレター 2 2 が配布されました

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

暦年後半号のニュースレター 2 2 は昨年末に配布されました。2018 年 7 月～12 月の活動の様子や投稿などを一覧的に掲載しています。“面白そうだ、次には参加してみよう”とのきっかけとなりましたら幸甚です。なお、ホームページでは以下にて過去号もご覧になれます。  
<http://nishitokyo-mitakai.net/profile4-siryu.html>

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

### 3. 麻雀の会、いよいよ初場所です

◎◎◎.\*.....\*°◎◎◎

暦年制単位で計画・実施している「麻雀の会」初場所は 1 月 27 日です。なお、本年=2019 年の年間予定は、下記です。ご予約ください。  
 1 月 27 日(日)、4 月 7 日(日)、6 月 16 日(日)、  
 8 月 4 日(日)、10 月 6 日(日)、12 月 15 日(日)の計 6 回です!  
 ( <http://nishitokyo-mitakai.net/circle4-majyan.html> )

西東京三田会会員に限定しておりません。ご連絡は下記へ。  
豊山 智明 (Tel. 080-8166-2864) (mail [toyoyama@kind.ocn.ne.jp](mailto:toyoyama@kind.ocn.ne.jp))

◎◎◎. :\* ..... \*:° ◎◎◎

#### 4. 友好諸会との年末・年始行事交流

◎◎◎. :\* ..... \*:° ◎◎◎

1月13日の西東京三田会新年会には、西東京稲門会様、東久留米三田会様、小平三田会様、東村山三田会様より計9名のご来賓のご参加を賜りました。

関係諸友好会から当会へのご案内もいただき以下の実績・予定です。

- ①東村山三田会 Xmas パーティー：2018年12月23日（日）。  
高橋副会長兼幹事長が出席しました。
- ②西東京稲門会新年会：2019年1月5日（土）樋口会長、渡辺康隆理事が出席。
- ③小平三田会新年会：2019年1月26日（土）篠崎、原(洋)副会長出席予定。
- ④東久留米三田会「新年会」&「落語会」：2019年2月2日（土）  
高橋副会長兼幹事長と佐藤副会長が出席予定。

なお、落語会「銀杏寄席」は先だって14時～16時15分開催されます。  
木戸銭500円で、どなたでも参加できます。皆さんにお薦め致します。

◎◎◎. :\* ..... 2 挨拶 ..... \*:° ◎◎◎

私、樋口は2012年の時点で、役員会末端にて事務局の立場を担当しており、会の活動状況、予定などを多く知り得る位置にいました。  
私は会広報紙「ニュースレター」も担当していました時期もあり、当初には1回/年の会報紙を、私主導で2回/年にさせて戴くようにはしましたが、なんとか活動記録だけでなく活動「予定」を盛り込みたく感じていました。そして、勝手に、2012年9月15日、「西東京三田会通信 第1号」として本メールマガジンに関係者に月刊を目論んでBCCにて配信いたしました。

その後関係者も増加し、現在160名ほどですが、この間「配信不要」のご連絡は3～4名に過ぎず、私としましても随分驚いているところです。

今号は77号で足かけ8年目、満では6年4か月目に当たります。  
勝手に始めたので勝手に止めてもよいとも考えられますが、一方で、現在は西東京三田会のなかで機能的認知もされているかに思えます。

西東京三田会の会員外の多くの方にも配信をご許可いただいております。  
このマガジンを受信していただいていることが即西東京三田会活動への応援であります。さらに会員の枠をも超えて次のステップへの参画となりましたら、この上なく幸甚に思います。  
(なお、やはり「不要」とお考えの方は、遠慮なくお申し出ください)

皆さま、今後とも西東京三田会をよろしく願います。  
そして今後のこのメールマガジンの行く末に対して忌憚ないご意見を賜りたく存じます。

元号が替わる年の初めに当たり、長々のご挨拶で失礼いたしました。

=====

西東京三田会 <http://nishitokyo-mitakai.net/>

本メールに掲載されているすべての記事等の文責は会員樋口にあります。

=====